

老朽原発 美浜3号機の再稼働に抗議する！ 安全確認を無視した大飯原発3号機の再稼働を止める

美浜原発3号機の再稼働に現地で抗議行動

美浜3号機は1976年3月に稼働し、2004年8月には2次系配管事故で11人が死傷する大事故が発生した。

23日には県内外から200人の市民が、「再稼働、絶対反対」と声を上げて抗議デモを展開し、町役場や関電前を行進し、関電に、美浜3号機の即時停止と廃炉要求の申入書を提出した。



美浜での抗議行動

関電は大飯③の安全確認無しの再稼働を止める

関電は、定期検査中の大飯原発3号機を7月3日に運転再開すると発表した。3号機は昨年9月、冷却配管から分岐し加圧器につながる配管の溶接部に傷が見つかった。関電は配管は厚さ14ミリで、傷の深さ約4.6ミリで、設計上必要な厚さ8.2ミリを満たしているため継続使用可能と判断した。肉厚の3分の1が損傷しているのに、原因も特定しないで再稼働するのは中止して徹底調査すべきだ。

規制委の「島根原発」再稼働認可を糾弾する

6月23日に規制委員会は中国電力の島根原発2号機(松江市)の再稼働の前提となる審査書案を了承した。現在パブコメが募集中であり、その後に安全審査が終了する。

島根原発は県庁所在地に建つ唯一の原発である、直近を穴道断層が通過しており、基準地震動を約1.5倍に、基準津波高さを11.6m高の防波壁を整備するなどの安全対策を行う。中国電力は島根県と松江市とだけを地元とするが、原発から30kmの避難計画策定が必要な鳥取県や周辺6自治体は同意権を求めている。



島根原発

全国の電力会社の株主総会で抗議行動！

6月25日に大手電力会社8社の株主総会が一斉に各地で開かれた。関電の総会では、老朽原発の美浜3号機の再稼働を受け、安全性と事故時の対応についての質問が出た。「原発は最低限にとどめるべきだ」「脱原発が必要だ」との意見に対し、森本社長は保有する原発全7基の稼働を目指す考えを強調した。関電株主行動の会は9件の株主提案を提起した。



関電総会での抗議

九電の株主総会に対しては消費者株主の会などが会場前で街頭宣伝行動を行った。四国電力、中国電力の株主総会でも「再稼働禁止や廃炉」を求める株主提案が提出され闘いが行われた。



九電総会での抗議

首相官邸前での反原発金曜行動再開！

10年前の福島事故を契機に首相官邸前で行われてきた「金曜行動」。安保闘争以来といわれる10万人以上が参加した時もあった。今年の3月末に中止となっていた。今回、市民有志の呼びかけで6月18日に再開された。今後は「原発いらない金曜行動」の主催で毎月第3金曜日に開かれる。

18日は落合恵子さんや鎌田慧さんも参加し、約200人が「原発はいらない」「事故は終わっていない」と声を上げた。



官邸前集会

表現の不自由展 かんさい (7月16-18日) の開催妨害を許すな！

国際芸術祭「あいちトリエンナーレ 2019」では、企画展「表現の不自由展」が右翼勢力の妨害によって一時中止となった。その作品を展示する展覧会「表現の不自由展・その後」が7月16～18日に大阪のエル・おおさかで開催される。

エルおおさかの不当な利用承認の取り消し

主催者団体は、エルおおさかや管轄の警察署と打ち合わせを重ね、実行委でも警備体制を検討してきた。今回のエルおおさかによる「利用承認の取消」は現実に脅威が起こっていないのに行われた不当なものである。エルおおさかの説明では、抗議のメールと電話があわせて70件、マイクアピールによる抗議街宣2回、数台の街宣車による午前午後の抗議街宣程度であり、従来では利用承認が取り消されたこと

はない。エルおおさかが利用承認を取り消すのは、今回が初めてであり、この取り消しが容認されるのであれば、今後誰かからの反対があるイベントは開催できなくなる。実行委はこの不当な処置について、30日に大阪地裁に対して処分撤回と執行停止を提訴した。

エルおおさかは取り消しを撤回し、開催を認めよ

これは憲法に保障された「表現の自由」が侵される事態であり、断じて容認することはできない。会場管理者には「表現の自由」を擁護する責任がある。エルおおさかの利用承認取り消しに断固抗議し、開催を認めるよう要求する。この問題について、吉村大阪府知事はわざわざ「取り消しに賛成だ」と述べた。府知事は、本来は「表現の自由」を守るために先頭に立って権利を擁護すべきであり、暴力的な「抗議行動」を取り締まり、利用者や周辺住民を守ることこそが責務である。吉村知事は利用承認取り消しを撤回すべきである。



沖縄戦から76年、米軍と自衛隊の専横が続く沖縄で

6月23日に沖縄県糸満市摩文仁の平和祈念公園で、沖縄全戦没者追悼式が開催された。今年もコロナ対策として参列者を30人に限定して開かれた。23日はアジア太平洋戦争末期の沖縄戦での住民を含む約20万人の犠牲者らを悼む「慰霊の日」として開かれている。今年の追悼式では玉城デニー知事が、地中に残された遺骨や不発弾にふれ「戦争の傷ははまだ癒えない」と述べた。来年の復帰50年に向けて、米軍基地集中の解消を求めた。県内の小中学生から選ばれる「平和の詩」は上原美春さんの「みるく世の謳」が選ばれて朗読された。(次頁に全文掲載)

玉城デニー知事は「知事平和宣言」の中で、沖縄戦での戦没者の遺骨が混じる土砂を、辺野古基地建設に使用することとの関連で、「国の責任において1日も早いご遺骨の収集、不発弾の処理」を要求した。

そして沖縄県に米軍専用施設の約70.3%が集中していることを述べ、来年度に本土復帰50年を迎えるにあたり、日米両政府と沖縄県の積極的協議の場を作り、辺野古基地建設にとらわれることなく、「新たな在沖縄米軍の整理・縮小のためのロードマップ」の作成と、目に見える形で沖縄の過重な基地負担の解消を要望した。そして未来を担う子供たちに平和で豊かな沖縄を託すことを日本語とウチナーグチ、英語で述べて決意を表明した。

具志堅さん再度のハンガーストライキ

6月19日から具志堅さんは再度、県庁前でハンガーストライキを始めた。そこに森友裁判の原告である赤木さんが激励に訪れて激励を行った。23日の追悼式会場で玉城知事は式終了後に具志堅さんを訪ねて話し合った。

具志堅さんの要請に玉城知事は「できることを一生懸命頑張りたい。いろんな人の声を受け止めて考えたい」と答えた。面会后、具志堅さんは「今は知事の背中を押したい」と話した。



玉城知事と具志堅さん

辺野古基地埋立てに戦没者の遺骨を使うな!

米軍の辺野古新基地建設のために、沖縄戦での戦没者の遺骨が混じる土砂を採掘し埋立てようとしている。それに反対して具志堅さんがハンガーストライキを行い反対世論は沖縄中に広がり、4月には沖縄県議会での満場一致で意見書が採択された。本土でも6月21日に金沢市議会、東京小金井市議会でも採択された。そして23日には大阪府茨木市で満場一致で採択され、吹田市でも採択された。2日には奈良県議会でも満場一致、そして宝塚市議会等でも採択が予定されている。

辺野古基地の賛否を超えた人道的問題

西尾慧吾さんは茨木市議会に陳情書を提出し、人道的問題として採択されるように陳情を繰り返し、全党派が受け入れて意見書が可決された。西尾さんは沖縄で遺骨収集を行う具志堅さんに呼応して「北摂一円で意見書採択に向けた動きを作りたい」と運動を展開している。 毎日新聞 5/5



西尾さんの活躍

森友疑獄／「赤木ファイル」が示す安倍元首相夫妻の犯罪

安倍前首相と昭恵氏の支援で「瑞穂の國記念小学院」を建設しようとした蓮池氏。建設用地を破格の価格で不正に手に入れた経過、安倍前首相の意を受けた佐川前理財局長の不正、それらを隠蔽するために、交渉記録は改ざんされ、真実は隠蔽されてきた。

決裁文書改ざんを押し付けられ、苦難の中で自死した近畿財務局職員であった赤木さんが経緯を記録した「赤木ファイル」がようやく開示された。

「赤木ファイル」を証拠に採用

6月23日に開かれた裁判では、原告の赤木さんが意見陳述を行った。裁判の目的として、①夫が自殺に追い込まれた原因と経緯を明らかにする。②上司の軽率な指示や判断で追い詰められて自殺する職員が二度と出ないようにする。③夫の遺志に基づき、誰の指示でどのような改ざんが行われたのか明らかにする。と述べた。そして、「国は赤木ファイルで明らかに

なった事実や経緯をもとに、第三者による再調査を実施するべきです」と訴えた。

赤木ファイルの原本確認を要求

「赤木ファイル」は提出されたが、「写し」であり原本との確認が必要である。そこで、原告側代理人は「写し」が「赤木ファイル」と同じものかどうか、原本を裁判所に提出して裁判所が確認することを提案したが、国側は「持ち帰って検討すること」となり、次回進行協議に。

今後のスケジュールは、7月と9月の進行協議を経て、第5回口頭弁論は、10月13日(水)14時からとなった。

公判に先立ってスタンディング

「森友学園問題を考える会」の呼びかけで参加者は13時過ぎから約30分間、地裁前でスタンディングを行った。



裁判所前で

決裁文書改ざんの経過

2016年6月20日	森友学園と国が国有地の売買契約を締結。売却額は評価額から8億2000万円を差し引いた1億3000万円
17年2月上旬	国有地売却問題が発覚
17日	国会で安倍晋三前首相が自身や夫人の関与があれば「総理も国会議員も辞める」と答弁
24日	佐川宣寿氏が交渉記録は「廃棄」と答弁
2月下旬～4月ごろ	佐川氏らが決裁文書の書き換えを複数回指示
18年3月2日	決裁文書の書き換え疑惑の報道
7日	赤木俊夫さんが自殺
9日	佐川氏が国税庁長官を辞任、退職
12日	財務省が決裁文書14件で改ざん認める
27日	佐川氏が国会の証人喚問で改ざんの経緯や動機の証言を拒否
5月31日	大阪地検特捜部が佐川氏らを不起訴
6月4日	財務省が改ざんの調査報告書を公表
20年3月18日	赤木雅子さんが提訴。赤木ファイルの提出を国に要請
21年2月8日	雅子さんがファイル提出を国に命じるよう申し立て
5月6日	国側がファイルの存在認める
6月22日	国側がファイルを雅子さん側に開示

六ヶ所村核燃料再処理総事業費 14.4兆円 (朝日 6/26)

毎年のように建設予算の増額と完成時期の延期を発表する日本原燃の「六ヶ所再処理工場」。本当は危険な廃棄物である使用済核燃料を「再処理できる財宝」としてゴミ屋敷のように蓄えてきた。今回は5千億円増で総事業費が14.4兆円となった。そして完成予定を24年度上期に延期した。全くの無駄な費用である。

学術会議任命拒否文書、不開示決定 (朝日 6/29)

政権に任命されなかった6人が請求した「拒否の理由がわかる文書」の開示請求について、政府は「文書が存在しないなどの理由」で不開示とした。まさに理由もない「任命拒否」であったことを政府が公にしている。

空自基地騒音 国に賠償命令 (朝日 6/29)

宮崎県新富町の航空自衛隊新田原基地の周辺住民ら約180人が騒音被害に対する損害賠償などを国に求めた訴訟で、宮崎地裁は28日に、国に総額約1億1300万円の賠償を命じた。夜間などの飛行差し止めと将来分の賠償請求は退けた。

空襲被害救済法案、議員立法できず (朝日 6/29)

国は軍人・軍属らに総額60兆円を補償してきた一方、空襲などによる民間人の被害については、「国との雇用関係がない」として救済の対象外としてきた。当事者は全国各地で賠償を求める集団訴訟を起こしてきたが敗訴した。2009年の東京地裁では「立法を通じて解決すべき問題」とした。全国空襲被害者連絡協議会が結成され、毎年のように議員立法を目指して運動されてきた。今年も請願は進んでいたが、最後の局面で自民党の一部が反対して議員立法をすることができなかった。

愛知リコール偽造 元県議らを起訴 (朝日 6/30)

リコール署名の偽造事件で検察は、維新元県議の田中容疑者と次男の2人を地方自治法違反で起訴した。偽造を請けた広告関連会社の元社長も在宅起訴した。

経産省 原発建替え明記せぬ方向 (朝日 7/1)

経産省が改定を目指す「エネルギー基本計画」に原発の建替えや新增設を明記しない方向で調整に入った。自民党内からは「建替えや新增設」の推進意見も多くあったが、国民の不信感が強いことで明記しない方向。

饗庭野自衛隊演習場 迫撃砲の場外被弾糾弾 日米共同軍事演習の中止要求の集会

滋賀県高島市の自衛隊饗庭野演習場で23日に120ミリ迫撃砲が演習場外に着弾した。同演習場では2018年1月、19年9月にも演習外への着弾事故が起こっている。

同演習場では24日から日米共同軍事演習が準備されていた。27日には「あいば野に平和を!近畿ネットワーク」の呼びかけで集会が開かれ、約100人の参加者が住民の安全確保と訓練中止を訴えた。デモも行った。



南京集会 2021 「南京特務機関と満鉄調査部」報告

6月19日、エルおおさかで南京大虐殺60周年大阪実行委員会主催の「南京特務機関と満鉄調査部—侵略戦争を裏で支えた謀略の先兵たち」が林伯耀さん講演で行われた。その中で1999年に林さんがインタビューした「特務機関員丸山進」映像(37分)が上映された。

中国大陸の豊富な資源(人的にも)を盗み取ることを使命とした満鉄調査部の手法はそのまま南京支配に移行した。しかし特務機関員丸山進は「食料を与え全力を尽くして我々が南京市民を護ったんですよ。日本軍は言われるような残虐なことをしたことはないんですよ。」という。

林さんはそれはナチスのアドルフ・アイヒマンが、「ユダヤ人に敵意はない。自分は忠実な公僕だった。」と法廷で語った姿に二重写しになるという。戦後、50年すぎても侵略の実態に目を向けようとしない姿!しかしそれは戦後の日本社会そのものではないか。

最後に朗読で終了となった。「戦いにありし月日の長ければしみつきしもの密かにあらん」しみつきしものは私たち戦後世代に受け継がれなかったという保証はない!!と。会場とリモートで合計90人の参加があった。(N)

南京集会 2021



兵庫県での朝鮮幼稚園への「幼保無償化」実現への闘い

2019年に実施された幼保無償化制度から外国人学校幼稚園が除外されて3年。宝塚市では除外された朝鮮幼稚園への救済措置を求める請願が2020年6月に採択され、伊丹市でも20年10月に同様の請願が採択されて、無償化からの除外という日本政府の固い差別の壁に、風穴があけられた。

「外国人学校幼稚園に幼保無償化の適用を求める署名」と、「新たな支援策に外国人学校幼稚園も対象にするように求める署名」が計107万筆も集まるなど、全国の運動で、幼保無償化の対象外にされた施設への新たな支援策が、閣議で了承され、2021年3月末の国会を通った。

支援の内容は、保育料を国と県と市が3分の1ずつ負担するもので、対象幼児一人当たり月額2万円が上限。

国が対象外になっている施設にきっちり策を講じたのではなく、「支援策」を講じるかどうかは自治体の手上げ

によって決まるので、判断は自治体任せである。

(2012年、橋下徹氏が知事になってすぐに朝鮮学校への補助金を全廃した大阪府のように「維新」が首長の自治体では手上げしない可能性がある)

1回目の手上げの期限が8月末迄、4月に遡って支給される。(兵庫県では西宮市以外の全ての市が手上げの見込み)

高校無償化や、学生支援金でも除外されている朝鮮学園に1/3ではあるが、国庫からお金が出るのは初めてだ。朝鮮学校保護者への初めての国庫補助が実現しようとしている意義は大きい。(田中ひろみ)

注): 学生支援金差別

日本政府は、新型コロナウイルスの影響で生活が困窮した学生に、最高20万円を給付する制度を設けたが、朝鮮大学校(東京都小平市)を対象から排除した。

みるく世（ゆ）の謡（うた）

以蔵。

初めて命の芽吹きを見た。

生まれたばかりの姪（めい）は

小さな胸を上下させ

手足を一生懸命に動かし

瞳に涙を閉じ込めて

「おなかすいたよ」

「オムツを替えて」と

力一杯、声の限りに訴える

大きな泣き声をそっと抱き寄せられる今日は、

平和だと思ふ。

赤ちゃんの泣き声を

愛（いと）おしく思える今日は

穏やかであると思ふ。

その可愛らしい重みを胸に抱き、

6月の蒼天（そうてん）を仰いだ時

一面の青を分断するセスナにのって

私の思いは

76年の時を超えていく

この空はきつと覚えていて

母の子守唄が空襲警報に消された出来事を

灯（とも）されたばかりの命が消されていく瞬間を

吹き抜けるこの風は覚えていて

うちなしぐらを取り上げられた沖繩を

自らに混じった鉄の匂いを

踏みしめるこの土は覚えていて

まだ幼さの残る手に、銃を握らされた少年がいた事を

おかえりを聞くことなく散った父の最後の叫びを

私は知っている

礎（いしじ）を撫（な）でる職（しわ）の手が

何度も拭ってきた涙

あなたは知っている

あれは現実だったこと

煙（きら）びやかなサンゴ礁の底に

深く沈められつつある

悲しみが存在することを

凜（りん）と立つガジュマルが言う

忘れるな、本当にあったのだ

暗くしめった壕（こう）の中が

憎しみで満たされた日が

本当にあったのだ

漆黒の空

屍（しかばね）を避けて逃げた日が

本当にあったのだ

血色の海

いくつもの生きるべき命の

大きな鼓動が

岩を打つ波にかき消され

万歳と投げ打たれた日が

本当にあったのだと

6月を彩る月桃が揺蕩（たゆた）う

忘れないで、犠牲になっていい命など

あって良かったはずがない事を

忘れないで、壊すのは、簡単だという事を

もろく、危うく、だからこそ守るべき

この暮らしを

忘れないで

誰もが平和を祈っていた事を

どうか忘れないで

生きることの喜び

あなたは生かされているのよと

いま摩文仁の丘に立ち

私は歌いたい

澄んだ酸素を肺いっぱいにとりこみ

今日生きている喜びを震える声帯に感じて

決意の声高らかに

みるく世ぬならば世や直れ

平和な世界は私たちがつくるのだ

共に立つあなたに

感じて欲しい

浪（たぎ）る血潮に流れる先人の想（おも）い

共に立つあなたと

歌いたい

蒼穹（そうきゅう）へ響く癒（いや）しの歌

そよぐ島風にのせて

歌いたい

平和な未来へ届く魂の歌

私たちは忘れないこと

あの日の出来事を伝え続けること

繰り返さないこと

命の限り生きること

決意の歌を

歌いたい

いま摩文仁の丘に立ち

あの真太陽まで届けと祈る

みるく世ぬならば世や直れ

平和な世がやってくる

この世はきつと良くなっていくと

繋（つな）がれ続けてきたバトン

素晴らしい未来へと

信じ手渡されたバトン

生きとし生けるすべての尊い命のバトン

今、私たちの中にある

暗黒の過去を溶かすことなく

あの過ちに再び身を投じることなく

繋ぎ続けたい

みるく世を創るのはここにいるわたし達だ

二〇二一年六月二三日 沖繩全戦没者追悼式

宮古島市立西辺中学校2年 上原美春さん

朝日歌壇 2021/6/27

民の声聴くとも総理七割は反対ですよ五輪と辺
野古 (東村山市) 五十井梧稜

「復興」の掛け声徐々に薄れきて「やるために
やる五輪」となりぬ (横浜市) 白鳥 孝雄

墨塗りのすみの下には墨よりも濃き暗闇が舞め
いている (東京都) 十亀 弘史

「退却」をかつて「転進」「汚染水」いま「処
理水」と変はらぬ欺瞞 (長野県) 山口 恒雄

朝日歌壇 2021/7/4

迫り来る五輪を前に期待せり小池都知事のちや
ふだり返し (東京都) 北條 忠政

触れ合いをしてはいけない祭典のオリンピック
は何を指すか (筑紫野市) 二宮 正博

運動会中止で五輪なぜ開催答えて小学生の疑問
に (匹海市) 前田 一葵

「無茶振り」の語が新広辞苑に入りて五輪・パ
ラリン開催を言ふ (前橋市) 萩原 葉月